

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

群馬県

（地域における現状・課題）

本県では、生徒数や教職員数の減少による学校規模の縮小により、学校での部活動運営が難しくなっている現状があり、合同部活動での大会参加が年々増加している傾向がある。また、学校の働き方改革に対応した教職員の負担軽減や生徒・保護者のニーズの多様化等、部活動を取り巻く諸課題に対応していかなければならないと考えており、それらの課題に対応し、持続可能な活動の推進に向けて、群馬県部活動運営の在り方検討委員会を開催し、提言を策定している。

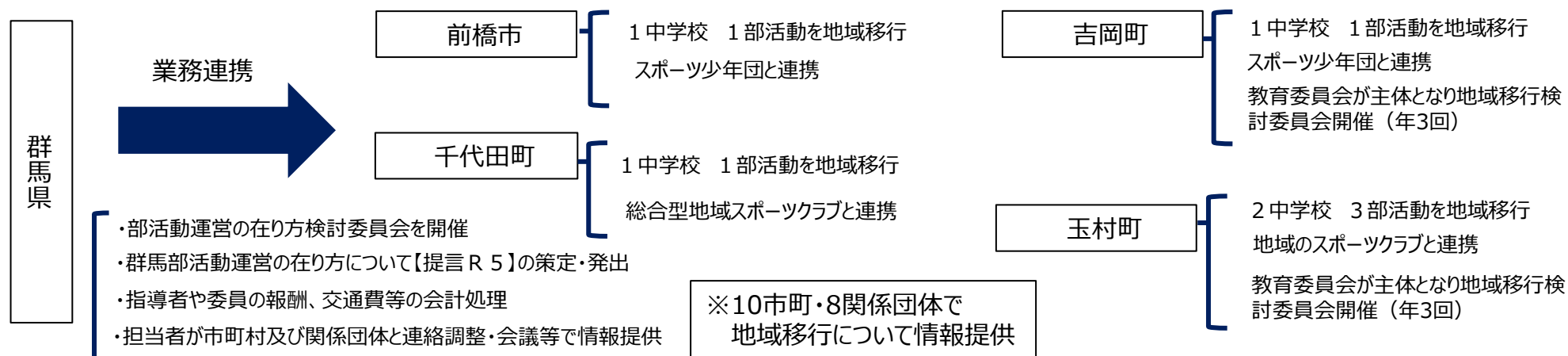
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- （1）群馬県部活動運営の在り方検討委員会の開催
- （2）群馬県地域運動部活動推進事業の実施
 - ① 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究の実施（1市3町において実施）
 - ② 地域部活動運営の在り方検討委員会の開催（2町で開催）
 - ③ 会議等における講師等の派遣（10市町教育委員会、8関係団体）

（実践研究の成果）

- （1）群馬県部活動運営の在り方検討委員会において、「休日の学校部活動の段階的な地域移行の推進」について、県・市町村、関係団体が取り組むべき内容を示した【提言R5】を策定し、発出した。
- （2）教育委員会及び各学校がまとめた事業実施報告書には、「部活動の地域移行を進める上でのポイント」や「検討委員会を開催・進める上でのポイント」が記載されており、報告書を各自治体及び学校、関係団体に配布し、周知することができた。
- （3）生徒、保護者、指導者、顧問のアンケートから、休日の部活動の地域クラブ活動への移行の有用性が明らかになった。特に、生徒は専門の指導者から指導を受けることで、競技の特性や楽しさを感じ、意欲や技能が向上していた。また、顧問は、心身の負担軽減につながっており、平日の指導の充実につながっていた。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

前橋市

（地域における現状・課題）

明桜中学校の地域には、地元根付いたスポーツ少年団のバレーボールチーム（はなまるジュニア）が存在する。女子バレーボール部の顧問が、家庭の事情により、休日の部活動を受け持つことが困難になった。そこで、地元でジュニア（小学生）を指導していたチームと一緒に活動を行うこととなった。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：はなまるジュニアクラブ（スポーツ少年団）

活動場所：前橋市立明桜中学校体育館

指導者：地域のスポーツ少年団指導者 関口 正江さん

移動手段：徒歩、自転車等（主に学校の体育館のため登校の様子による）

責任主体活動種目：女子バレーボール部

会費等：徴収なし

保険：生徒一人当たり1,450円（スポーツ安全保険）

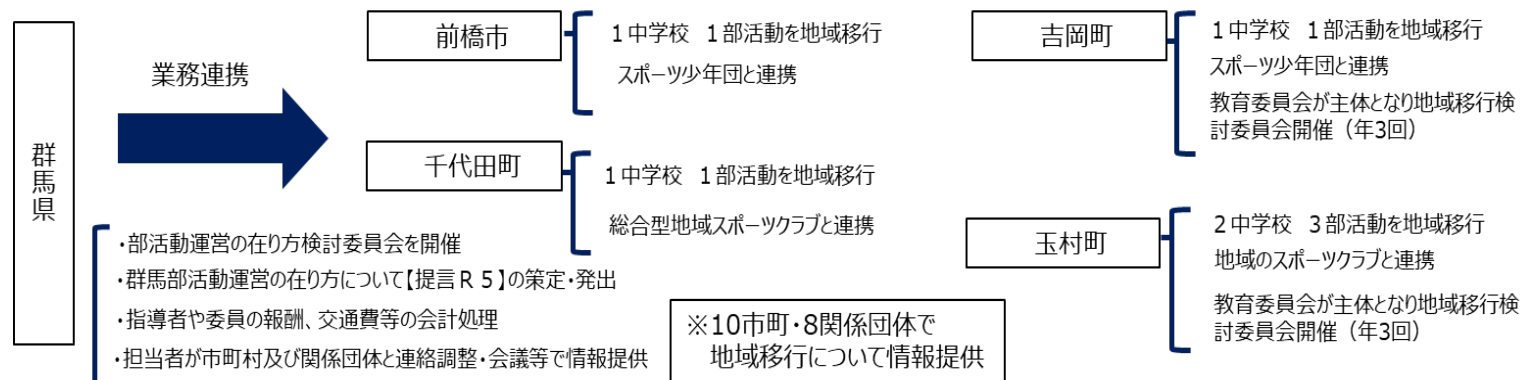
（実践研究の成果）

- ・スポーツ少年団で長年指導されている知識や経験をもとに指導をしてくださるので、生徒も専門的な技術が学べてよかったと感じている。また、顧問教諭はバレーボールが専門ではないため、負担感をもっていましたが、練習等をしていただけるので、大変感謝している。
- ・休日の練習に関しては、スポーツ少年団にお願いをしているため、教員の働き方改革につながった。

（運営体制図）

・現在のところ、運営体制とよべるような体制はとっていない。今後、検討委員会を立ち上げる中で、運営主体を中心とした取組について検討していきたい。

【参考：群馬県運営体制図】



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

吉岡町

（地域における現状・課題）

- 町内唯一の中学校である吉岡中学校には、11競技（男女別で14部活）の常設運動部があり、恒常的に休日のどちらか一日程度活動を行っている。
- 部活動指導員や外部指導者がいる部活動もあるが、休日の部活動指導が顧問教員の負担になっているのは事実で、持続可能で新たな地域クラブ活動体制の構築が必要となっている。
- 吉岡町には12競技のスポーツ少年団があり、地域の指導者が長年に渡り小中学生（主に小学生）のスポーツ指導に携わっている。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：吉岡町スポーツ少年団 剣道団

活動場所：吉岡町社会体育館剣道場

指導者：吉岡町スポーツ少年団 剣道団長

移動手段：徒歩、自転車等

責任主体：吉岡町教育委員会生涯学習室（地域学校協働センター）

活動種目：剣道

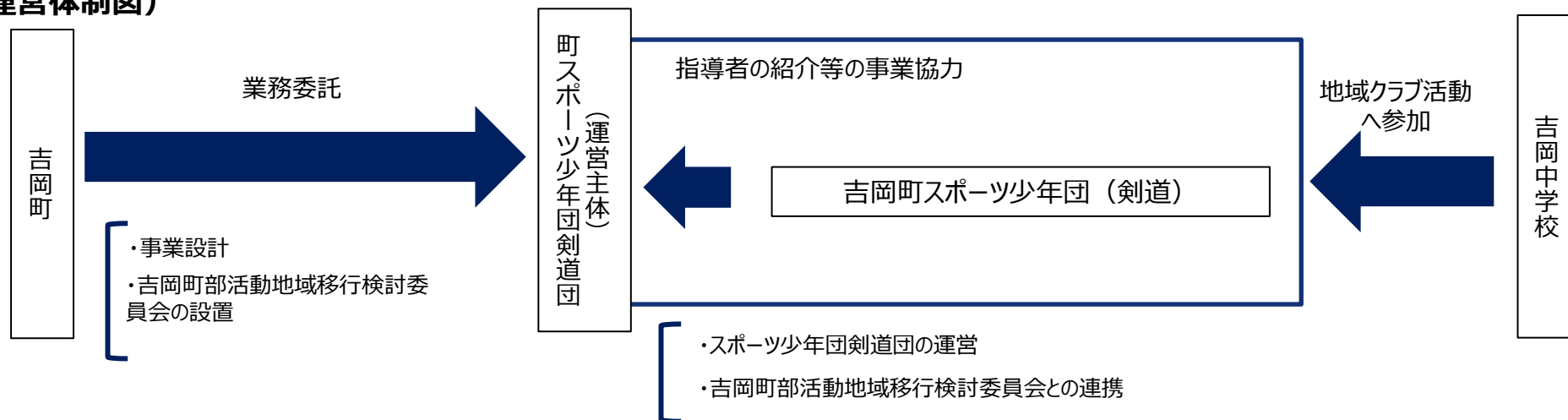
会費等：0円

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- 部活動指導員として長年に渡り剣道部の指導に携わってきた方に指導をお願いしたので、生徒や保護者からの信頼が厚く、関係が大変良好であった。
- 生徒にとっては、専門的な指導を受けることができるとともに、地域の大人と交流する場となった。
- 顧問にとっては、専門的な指導を学ぶことができるとともに、休日における時間的な負担軽減に繋がった。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

玉村町

（地域における現状・課題）

- 少子化により学校規模が縮小している中、生徒のスポーツへのニーズは多様化しているため、学校だけでは対応が困難になってきている。また、生徒数の減少に伴い、単独チームで大会に出場することができない部活動もある。
- 指導者の確保をすること。（学校と連携し、顧問の方針を引き継ぎ、勝利主義に走らず、生徒に寄り添った指導ができる人材）
- 今後の地域部活動運営のあり方や方向性を検討するとともに、中体連等の大会の参加について、国や県の動きに柔軟に対応すること。
- 地域指導者への謝金や保護者負担について検討すること。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：玉村町教育委員会

活動場所：町総合運動公園テニスコート、両中学校テニスコート

指導者：地域指導者（元中学教員、元中学部活動指導員等）

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：玉村町ソフトテニスクラブ

活動種目：ソフトテニス

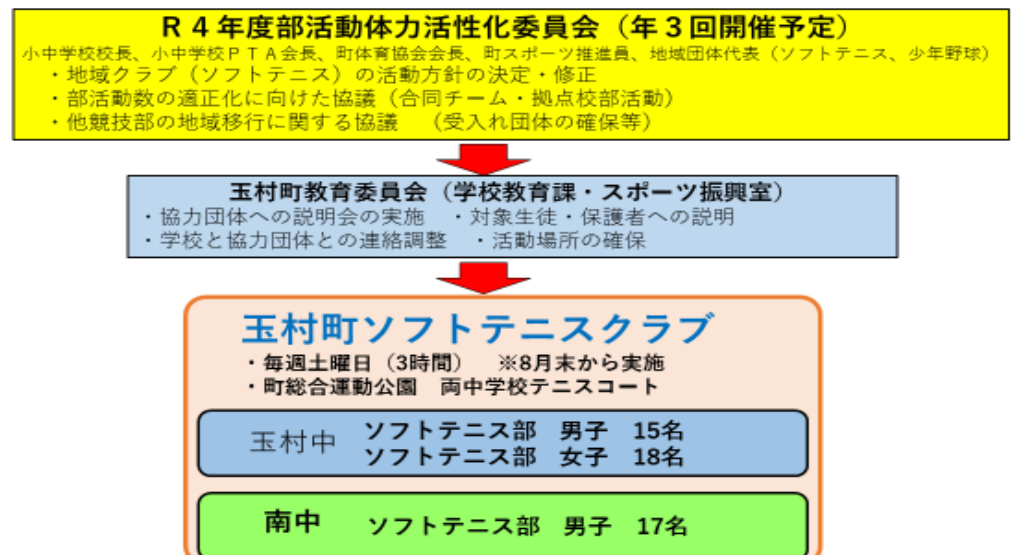
会費等：なし

保険：800円（スポーツ安全保険）※町予算対応

（実践研究の成果）

- 指導経験のない教員にとっての負担軽減につながった。
- 生徒にとっては、競技力の向上に加えて、他校の生徒や地域の大人たちと接する時間が増えた。
- 本実践を通して、他競技部の地域活動への見通しが生まれ、今後の方針について学校や地域の意識付けとなった。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

千代田町

（地域における現状・課題）

専門的な指導を行える指導者が地域に存在しない。人が人を教えることなので、指導者は経験者であれば誰でも良いというわけではないので、生徒や保護者と人間関係づくりを行いながら指導できる指導者が必要なため、指導者の指導方法や人柄による関係性を重視する。そのため、指導者の選定にあたってはスポーツ振興係と連携しながら、重要視したポイントである。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

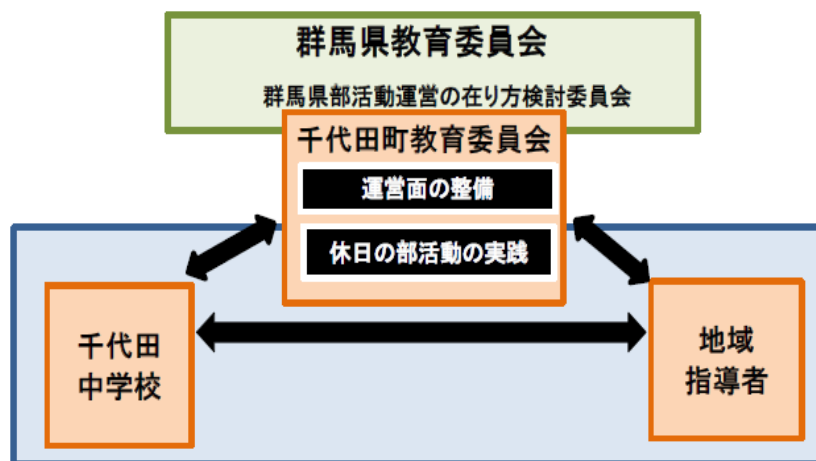
運営主体：総合型スポーツクラブ ちよだスポーツクラブ
活動場所：千代田中学校体育館
指導者：地域指導者 市川 佳男
移動手段：徒歩、自転車

責任主体：千代田町教育委員会
活動種目：バドミントン
会費等：0円
保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・教員の業務改善、負担軽減につながった。
- ・専門的な指導を受けた事による、生徒の技術、意欲が向上した。
- ・昨年度の経験を踏まえた、生徒との人間関係づくりもできており、部活動以外の「ちよだスポーツクラブ」の活動に参加する生徒が増えてきた。

（運営体制図）



教育委員会事務局 学校教育係：千代田中学校の窓口
教育委員会事務局 スポーツ振興係：指導者の窓口

学校教育係とスポーツ振興係の連携を重視